

平成 30 年千葉市大会三年生の部戦評

決勝

11 時 15 分キックオフ 青葉の森運動公園

ルール (15-5-15・延長戦 5-5・PK による決着・飲水採用)

主審 松川 氏

バディーサッカークラブ千葉 対 Wings U-12

2 2

1 0

.....

3 2

前半

バディーサッカークラブ千葉 (以後バディー) のキックオフで始まった決勝戦

早いプレスでボール奪った Wings U-12 (以後 Wings) 一機にペナルティーエリアに進入して早速チャンスを作るもバディーディフェンス陣が跳ね返す、更に 2 分 3 分と Wings の攻め CK・ミドルシュート GK 正面と得点には至らず、4 分ここで試合が動いたハーフェーライン左で Wings の反則、バディーFK を獲得、ペナルティーエリア内に蹴り込み混戦が生まれ WingsDF が痛恨の反則、バディーPK を獲得 14 番藤原君が冷静に決めて先制、その後一進一退の攻防のから再びバディーが 9 分左サイドからチャンスを作り最後はこぼれ球を 7 番藤掛君が決めて追加点が入る、2 点ビハインドの Wings にタイミングの良い飲水タイム Wings コーチから下を向いている選手にもう終わっちゃうのと言う問いかけに直ぐ選手は答えて見せた、10 分良い守備から右サイドに展開センターリングが入り 52 番並川君が上手く合わせてゴール、15 分 Wings ゴール前の混戦から 52 番並川君が同点ゴール、これで試合は振り出しに戻り後半へ。

後半

青葉の森は最高の盛り上がりを見せて後半 Wings のキックオフ

早速 Wings にチャンス 1 分左 CK2 分ゴール前の混戦を作るも得点できず、するとバディーにビックチャンスが訪れる 3 分右 CK を獲得するも跳ね返されますがバディーSDF9 番白水君が相手選手から良い形でボール奪い右のスペースにパス、タイミング良く走りこんだ MF 角谷さん (撫子) がボールキープしながら前線へのパスをうかがっていると中央に居た味方が右ライン際に流れる動きを見せる、角谷選手は囷に使い WingsSDF と MF の間を縫うようにファーサイドに走りこんだ 14 番藤原君にピンポイントクロス、落ち着いてボールコントロールをして流し込む見事な得点。

その後 Wings も賢明の反撃に出るもバディーゴールをこじ開ける事が出来ずタイムアップ。

結果、バディーサッカークラブ千葉サックス優勝、WingsU-12 準優勝でした。

この両チームは全く違うコンセプトを持ったサッカーを展開してくれました。

バディーは前に急がずスペースを上手く使い、時にはサイドチェンジなどしてサイドから崩す事が多く見られた、相手選手を抜くためのドリブルでは無く味方が寄って来るまでキープする、パスコースを作るドリブル、そんなイメージでした。

一方、Wings は早いプレスからボールを奪い縦に早いドリブルで仕掛け相手選手を抜きにかかる積極果敢なプレースタイルでした。

この二チームに共通しているのは一人一人の技術が高い事と戦術感にたけていると言う事です。

今後、この学年は二チームが牽引しながら Jr ユース世代まで何度も凄い試合が見られそうです。

予選で敗れ去ったチームも含め、一層の努力を期待します。

大会関係者の皆様の努力で素晴らしい大会になりました、綿密な打合せの元素晴らしいレフェリングで試合をコントロールして好ゲームを演出した審判団も見逃せません。

若葉区四種委員会技術部 梶内

平成 30 年千葉市大会 3 年生の部選評

準決勝

第一試合 9 時キックオフ 青葉の森公園運動場

ルール (15・5・15 延長無で P K による決着)

主審 岡田氏

バディー S C	0	対	0	花園 S C
	1		1	
.....				
P K	6		5	

バディー S C 千葉サックス (以後バディー) 対花園 S C グリーン (以後花園)

バディーのキックオフで開始され、立ち上がりは互角の展開でしたが、少しずつバディーのサイド攻撃が試合の流れを優位にしてきました。

花園の攻撃はバディーの攻撃を耐え奪ったボールを一人がチャレンジをした形でしたのでなかなか良い攻撃に繋がりませんでした。

前半の 0 対 0 でした

前半は

良い展開からのシュート 5 本バディー、対する花園は 1 本それでも粘り強く守る。

後半戦突入

展開は同じでバディー優位でした。

決定機もバディーに多く訪れましたが決めきれない。

その中で終了間際

サイド攻撃からチャンスを作り、待望の先制点

これで勝負ありかと思われましたが花園失点直後のキックオフから

積極的に仕掛け起死回生の同点ゴール、P K による決着に突入。

P K による決着もサドンデスまで突入しました。

最後花園 6 人目が外しバディー勝利

終始優位にゲームを進めたバディー

終了直前に先制され、敗退が知らつくなく気持ちを切らさず、追いついた同点弾

諦めない花園の姿勢が見応えのある試合を支えた。

準決勝

第二試合 10時キックオフ 青葉の森運動公園

ルール (15-5-15 延長戦無PKによる決着)

主審 佐久間氏

Wings	U-12	対	CFC	U-12
	1		0	
	2		0	
.....				
	3		0	

CFC U-12 (以後CFC) のキックオフで開始

開始早々は互いに縦の早いドリブルで仕掛け合い五分五分の展開でしたが

次第にウイングスU-12 (以後 Wings) の攻守の切替のスピードがまさり

ゲームを支配し始めました。

耐えていたCFCも前半1点後半2点と失点と奪われましたが

壊れかけたゲームをベンチのコーチの声やスタンドの声援が選手達を後押しして最後まで

攻守に渡り、気持ちを切らすことなく動き続けてボールを奪った後縦へのドリブルやGK

のパントキックからチャンスを作り、Wings ゴールを脅かしました。

諦めない心が好ゲームを生んだと思います。

力尽きたCFCですが

素晴らしいスタッフとママを中心とした最高のサポーターが居る限り

青葉の森に戻ってくる予感がします。

若葉区四種委員会技術部 梶内